

女子栄養大学と埼玉県立松山女子高等学校との連携の方向性

女子栄養大学

- 1933年の開設以来、88年の伝統と実績
- 建学の精神「食により人間の健康の維持・改善を図る」のもと確かな教育・研究を推進
- 科学を尊重し実践に強い「食」のスペシャリストを養成

大学の高度な教育力を活用し、
伝統を尊重し、変化する社会に
柔軟に対応できる人材を目指し、
高校生の主体的な学びを向上
させ、個々の可能性を広げる

埼玉県立松山女子高等学校

- 創立96年目を迎え、これまでの歴史と伝統を通じて、「凛として輝く」女性の育成に注力
- 「質の高い学習」を保障し、「主体的な学び」を推進
- 部活動や地域活動で、挑戦力・協働力を磨く

★ 凛として輝く 地域の期待に応える ★

ひとつ上の自分を目指して
～from a higher perspective～

〈連携内容(例)〉

- 大学教員による講演会・出張講義の実施
例) 女子栄養大学が実施する「香川綾記念講師派遣事業」の活用
- 高校生が大学で学ぶ交流事業や学生体験の実施
例) 大学訪問で、栄養、調理、健康、SDGsをテーマにした講義の受講。食堂メニューの体験
- 高校生の探求学習への大学教員・学生のサポート 等

栄養学部 実践栄養学科



管理栄養士 全国第1位
国家試験合格者数 232名
(2021年3月卒業生)

栄養学部 保健栄養学科 栄養科学専攻



栄養士資格を持つ
臨床検査技師
家庭科教諭
スポーツ栄養の
専門家の養成

栄養学部 保健栄養学科 保健看護専攻



看護教諭採用
試験合格者数
(延べ人数) 51名
(2021年3月卒業生)

栄養学部 食文化栄養学科



食文化・食産業の発展に貢献する
食のスペシャリストの養成

短期大学部 食物栄養学科



2年間で「食」の基本を徹底して学び
栄養士免許を取得



◀ 調理実習をはじめ、「主体的な学び」の場を多く提供していることが松女の強み

伝統や文化を大切に守り、ICTも活用し、社会の変化に柔軟かつ的確に対応していく学びは、松女の強み



▼ インターハイに向けての 結団式
部活動全員加入で、「凛として輝く」人間力を磨く



- 栄養学の実践を通して社会に貢献。連携協定数は、本協定を含め134件。高校との連携数は51校に。